



※会議名 平成 29 年度 名古屋飛行場 管制交流会

※日 時 平成 29 年 9 月 29 日 13:00~16:00

※参加者 航空自衛隊小牧管制隊 8 名
航空自衛隊航空救難団 2 名
JAPA 中部支部ほか各社 23 名

去る平成 29 年 9 月 29 日、県営名古屋飛行場の管制交流会を隣接するエアポートウオーク3階コミュニティールームにおいて開催し、航空自衛隊小牧管制隊をはじめ、官公庁、民間事業会社及び自家用の操縦士など計 33 名が参加しました。



JAPA 具志中部支部長



小牧管制隊 尾内一尉

県営名古屋飛行場は、民間機はエアライン、GA のビジネスジェット、小型固定翼、ヘリコプタなどが利用しており、自衛隊機は、戦闘機、大型輸送機、救難機などが利用しております。このように多種多様な機体が飛び交い、管制は自衛隊が行うという特徴があります。

このようにトラフィックの多い環境下において、いかに安全を保ち、効率的に運航を行うかが本交流会のテーマであり、これは永遠のテーマでもあります。

※会議前半

あらかじめ提出された質問事項に対する小牧管制隊の回答ならびに補足説明

※会議後半

自由討議として様々な意見や質問が出され、管制官とパイロットの間において、相互理解を深める機会となりました。

また、民間事業会社による訓練科目（180°オートローテーション）についての説明は、航空自衛隊や固定翼の方にとっては特異な飛行であるため、有益な情報提供になったものと思われます。

以上のことから、今後、名古屋飛行場において、より一層の航空安全が図れるものとなり、有意義な会議となりました。



なお、会議終了後、場所を名駅近くの居酒屋に移し、有志による懇親会を実施しました。
懇親会では、昼の会議よりもさらに深い質問や意見が飛び交い大変有意義な時間となりました。